

# 付着生物ラーバ情報

## ユウレイボヤのラーバは引き続き出現なし

### 1 ラーバ等の出現状況

令和5年1月6日から1月13日にかけて陸奥湾内3地点において付着生物ラーバ等の調査を行いました。調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

#### (1) ユウレイボヤ (通称：ハナ)

ラーバは見られませんでした (表1、図2)。

#### (2) マボヤ

ラーバは奥内沖で令和5年1月6日に3.8個体/m<sup>3</sup>、久栗坂沖で1月13日に1.7個体/m<sup>3</sup>見られました (表1、図3)。

卵は奥内沖で令和5年1月6日に3.1個/m<sup>3</sup>、久栗坂沖で1月13日に5.0個/m<sup>3</sup>見られました (表1)。

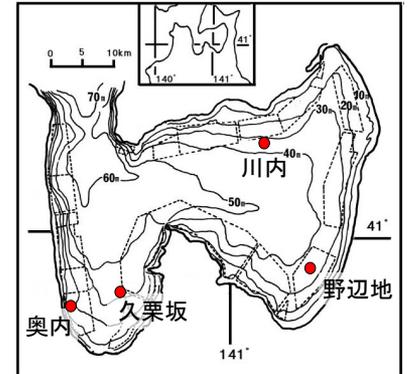


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	キヌマトガイ	ムラサキガイ	サンカク フジツボ	ミネ フジツボ	マボヤ	
								ラーバ	卵
奥内沖	R5.1.6	0.0	0.0	0.0	26.3	0.0	0.0	3.8	3.1
久栗坂沖	R5.1.13	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0	1.7	5.0
野辺地沖	R5.1.7	0.0	0.0	0.0 </td <td>0.8</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td>	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0

※久栗坂沖は実験漁場内

### 2 今後の見込み

ユウレイボヤは例年10月～12月にラーバが出現し、8℃未満になると出現しなくなります。今季は10月から1月上旬までほとんど出現していません (図2)。今季はラーバ累積出現数が少ないことから、現時点では今春の半成貝出荷時のネットへの付着量は少ないことが予測されます。

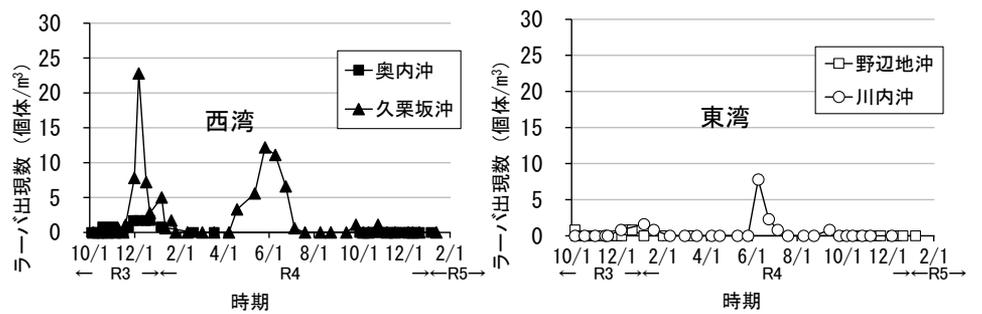


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移 (令和3年10月～令和5年1月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値：西湾 25個体/m<sup>3</sup>、東湾 10個体/m<sup>3</sup>

### 3 マボヤ天然採苗情報

マボヤのラーバ及び卵は西湾では出現していますが、マボヤのラーバは水温が9℃を下回ると活性が低下するため、マボヤの付着は終了したものとされます。

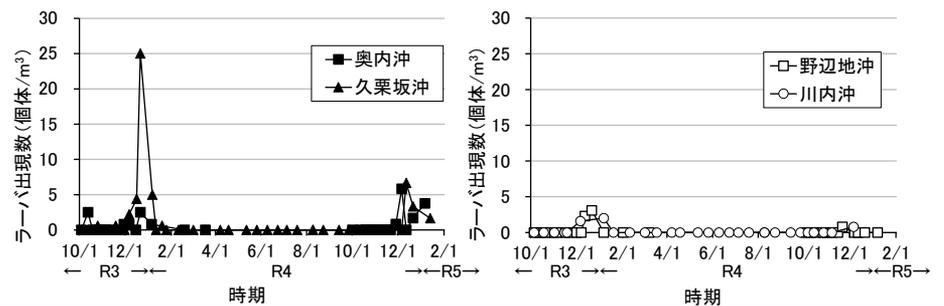


図3 マボヤラーバ出現数の推移 (令和3年10月～令和5年1月)

・平成28年の観察開始から現在までの最大値：西湾 27個体/m<sup>3</sup>、東湾 5個体/m<sup>3</sup>

